



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月8日

上場会社名 ジャパンマテリアル株式会社  
 コード番号 6055 URL <https://www.j-materials.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 久男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 竹村 光司  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 TEL 059-399-3821

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,032	4.6	6,283	25.7	6,282	24.7	4,339	26.0
2020年3月期第3四半期	23,927	9.6	5,000	22.5	5,037	22.1	3,442	22.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,297百万円 (27.1%) 2020年3月期第3四半期 3,380百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	42.28	
2020年3月期第3四半期	33.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,421	29,968	84.6
2020年3月期	34,739	27,107	78.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 29,968百万円 2020年3月期 27,107百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		14.00	14.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	8.1	8,600	6.1	8,600	5.7	5,800	3.6	56.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	105,149,520 株	2020年3月期	105,149,520 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,528,574 株	2020年3月期	2,528,574 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	102,620,946 株	2020年3月期3Q	102,620,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、依然として厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言の解除後は段階的に社会経済活動が再開され、各種政策の効果により景気は持ち直しの動きがみられたものの、感染再拡大により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界では、IoTや5G(第5世代移動通信システム)の普及によるデータセンター向けの増加やテレワークの拡大などを背景に、半導体需要は回復傾向にあります。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門(特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工)は、主要顧客である半導体工場において新規設備投資に一部減速感がみられたものの、設備投資は継続して実施され、堅調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門(特殊ガス販売管理業務、技術サービス等)は、半導体工場での生産活動が拡大していることから、半導体製造装置メンテナンス、超純水プラント運転管理請負業務及びメンテナンスを中心に堅調に推移しました。

なお、エレクトロニクス関連事業のセグメント利益は、前期第1四半期のイニシャル部門において、顧客の新設工場での新規設備投資に伴う供給配管施工のコスト増加の影響があったことから、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は前年同四半期比で増加となりました。

グラフィックスソリューション事業においては、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い展示会等が中止となるなど引き続き営業活動が制限され、また顧客のイベント開催自粛等の影響を受け機器設備、デジタルサイネージ関連製品が伸び悩みました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は25,032百万円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益は6,283百万円(前年同四半期比25.7%増)、経常利益は6,282百万円(前年同四半期比24.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,339百万円(前年同四半期比26.0%増)となりました。

#### ①エレクトロニクス関連事業

当セグメントにおいては、売上高は24,065百万円(前年同四半期比5.9%増)、セグメント利益は6,760百万円(前年同四半期比25.8%増)となりました。

#### ②グラフィックスソリューション事業

当セグメントにおいては、売上高は806百万円(前年同四半期比22.0%減)、セグメント利益は168百万円(前年同四半期比22.9%減)となりました。

#### ③太陽光発電事業

当セグメントにおいては、売上高は160百万円(前年同四半期比1.5%増)、セグメント利益は66百万円(前年同四半期比12.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ681百万円増加し、35,421百万円となりました。これは主にリース債権及びリース投資資産が966百万円減少、差入保証金が342百万円減少したものの、現金及び預金が1,245百万円増加、仕掛品が708百万円増加したことによります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,179百万円減少し、5,453百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が947百万円減少、未払法人税等が593百万円減少、未払金が571百万円減少したことによります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,861百万円増加し、29,968百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,339百万円の計上及び配当金の支払1,436百万円により利益剰余金が2,902百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月14日付「2020年3月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による国内外の経済活動の更なる減速、主要顧客の設備投資の遅れ、顧客工場における稼働率の大幅な低下などにより、今後の事業活動及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,004,956	7,250,575
受取手形及び売掛金	11,990,961	12,637,823
商品及び製品	580,698	637,474
仕掛品	980,850	1,689,458
原材料及び貯蔵品	1,613,636	1,376,451
その他	1,471,478	1,393,637
流動資産合計	22,642,582	24,985,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,023,617	3,869,084
その他（純額）	2,622,277	2,401,424
有形固定資産合計	6,645,895	6,270,508
無形固定資産		
のれん	122,946	29,687
その他	53,110	51,267
無形固定資産合計	176,057	80,955
投資その他の資産		
リース債権及びリース投資資産	3,933,419	3,139,778
差入保証金	603,421	261,231
その他	738,570	683,895
投資その他の資産合計	5,275,412	4,084,906
固定資産合計	12,097,365	10,436,370
資産合計	34,739,948	35,421,789
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,985,537	2,037,992
短期借入金	72,744	29,814
未払金	1,017,286	445,609
未払費用	285,593	361,923
未払法人税等	1,378,775	785,253
賞与引当金	496,964	259,018
その他	295,155	489,327
流動負債合計	6,532,057	4,408,938
固定負債		
リース債務	679,945	560,871
退職給付に係る負債	318,955	381,906
資産除去債務	30,042	29,350
その他	71,706	72,417
固定負債合計	1,100,649	1,044,545
負債合計	7,632,707	5,453,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,317,815	1,317,815
資本剰余金	1,598,482	1,598,482
利益剰余金	25,293,755	28,196,256
自己株式	△1,066,672	△1,066,672
株主資本合計	27,143,379	30,045,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,570	△12,463
為替換算調整勘定	△31,462	△66,813
退職給付に係る調整累計額	1,892	1,701
その他の包括利益累計額合計	△36,139	△77,575
純資産合計	27,107,240	29,968,305
負債純資産合計	34,739,948	35,421,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	23,927,724	25,032,329
売上原価	16,939,151	16,766,276
売上総利益	6,988,573	8,266,052
販売費及び一般管理費	1,988,320	1,982,545
営業利益	5,000,253	6,283,507
営業外収益		
受取利息	10,277	7,694
受取配当金	12,300	4,698
受取賃貸料	11,556	11,249
為替差益	335	—
助成金収入	3,810	29,413
その他	8,830	9,903
営業外収益合計	47,110	62,959
営業外費用		
支払利息	5,832	4,265
為替差損	—	55,813
不動産賃貸費用	3,097	3,060
その他	732	517
営業外費用合計	9,662	63,656
経常利益	5,037,701	6,282,810
特別利益		
固定資産売却益	—	482
特別利益合計	—	482
特別損失		
固定資産除売却損	2,527	4,388
投資有価証券評価損	4,500	—
特別損失合計	7,027	4,388
税金等調整前四半期純利益	5,030,673	6,278,904
法人税、住民税及び事業税	1,464,731	1,865,155
法人税等調整額	123,031	74,554
法人税等合計	1,587,762	1,939,709
四半期純利益	3,442,911	4,339,194
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,442,911	4,339,194

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,442,911	4,339,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,437	△5,893
為替換算調整勘定	△69,513	△35,351
退職給付に係る調整額	—	△191
その他の包括利益合計	△62,075	△41,435
四半期包括利益	3,380,835	4,297,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,380,835	4,297,758
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	22,735,461	1,034,009	158,254	23,927,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	22,735,461	1,034,009	158,254	23,927,724
セグメント利益	5,375,352	218,477	59,594	5,653,424

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,653,424
全社費用(注)	△657,635
その他	4,464
四半期連結損益計算書の営業利益	5,000,253

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	24,065,718	806,048	160,563	25,032,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	24,065,718	806,048	160,563	25,032,329
セグメント利益	6,760,856	168,515	66,918	6,996,290

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,996,290
全社費用(注)	△717,029
その他	4,246
四半期連結損益計算書の営業利益	6,283,507

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2021年2月8日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の理由

当社グループは、エレクトロニクス関連事業を主力事業とし、半導体及び液晶関連工場向けに製造工程において不可欠な特殊ガスを軸に、超純水、薬液等に関連するインフラ事業及び半導体製造装置向け保守・メンテナンス、装置メンテナンス用部品の製造・販売事業を行っております。

このような状況の中、さらに顧客ニーズへの対応を充実させ、半導体製造装置向け保守・メンテナンス及び技術サポートサービスの事業拡大を図るため、技術者派遣を目的とする子会社を設立することといたしました。

2. 設立する子会社の概要

- (1)名称 株式会社W i L(ウィル)
- (2)所在地 三重県三重郡菟野町永井3098番22
- (3)代表者 代表取締役社長 高木 浩
- (4)事業内容 労働者派遣事業
- (5)資本金 20百万円
- (6)設立年月日 2021年3月上旬(予定)
- (7)出資比率 当社100%